

2020年3月期 通期 連結決算ハイライト

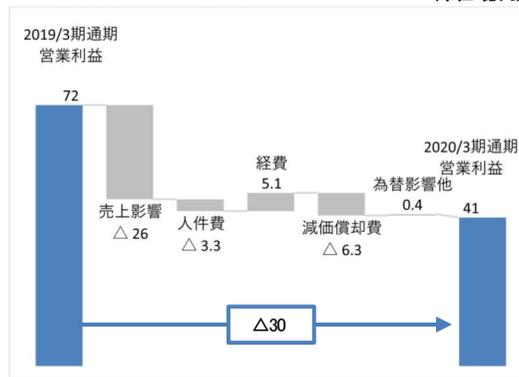
1. 連結業績概要

通期業績	実績		前年度比	
	2019/3期 通期	2020/3期 通期	増減額	増減率
売上高	107,718	100,159	△ 7,558	△ 7.0%
営業利益 (営業利益率)	7,262 (6.7%)	4,168 (4.2%)	△ 3,093 (△2.6%)	△ 42.6% -
経常利益 (経常利益率)	6,630 (6.2%)	3,660 (3.7%)	△ 2,970 (△2.5%)	△ 44.8% -
親会社株主に帰属する当期純利益 (純利益率)	4,135 (3.8%)	2,740 (2.7%)	△ 1,395 (△1.1%)	△ 33.7% -
自己資本当期純利益率 (ROE)	7.9%	4.9%	△ 3.0%	-
自己資本比率	35.0%	35.1%	0.1%	-
純有利子負債(有利子負債-現預金)	39,811	37,211	△ 2,600	△ 6.5%
設備投資	7,273	10,857	3,584	49.3%
減価償却費	8,528	9,517	989	11.6%
研究開発費	2,047	2,105	58	2.8%
連結子会社数	33	33	0	-
為替レート(1USD/円)	111.00	109.56		
為替レート(1ユーロ/円)	127.00	122.54		

(単位:百万円)

左記為替レートは各期12月末TTMレート

＜連結営業利益の増減要因＞



＜配当・配当性向＞

2021年3月期の配当につきましては、現時点では未定です。

	2016/3期	2017/3期	2018/3期	2019/3期	2020/3期
中間	13円	15円	15円	15円	20円*
期末	13円	15円	15円	15円	予定 15円
年間	26円	30円	30円	30円	予定 35円
配当性向	27.9%	54.0%	33.3%	32.0%	予定 60.1%

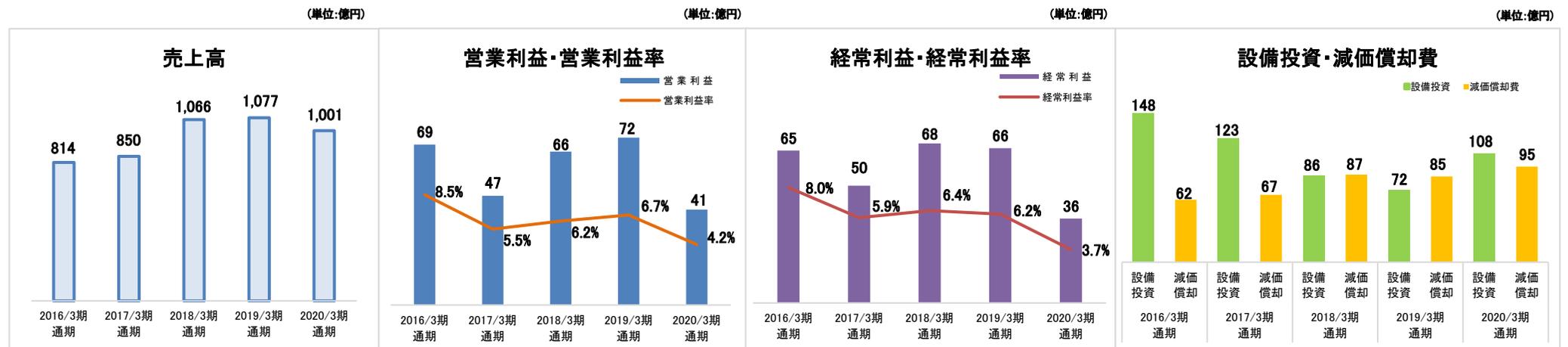
※2020/3期中間配当・・・記念配当(5円)を含んでおります。

＜業績予想について＞

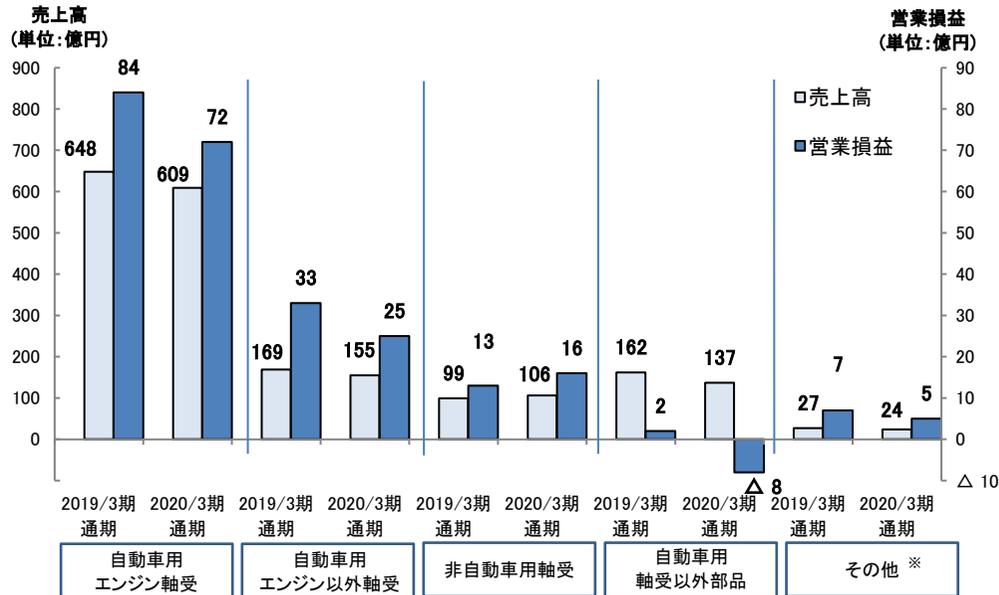
2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点での合理的な算出は困難であることから、未定といたします。

今後、業績への影響を慎重に見極め、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

2. 連結業績/設備投資・減価償却費 推移



3. セグメント別情報 / 売上高・営業損益(セグメント間消去前)

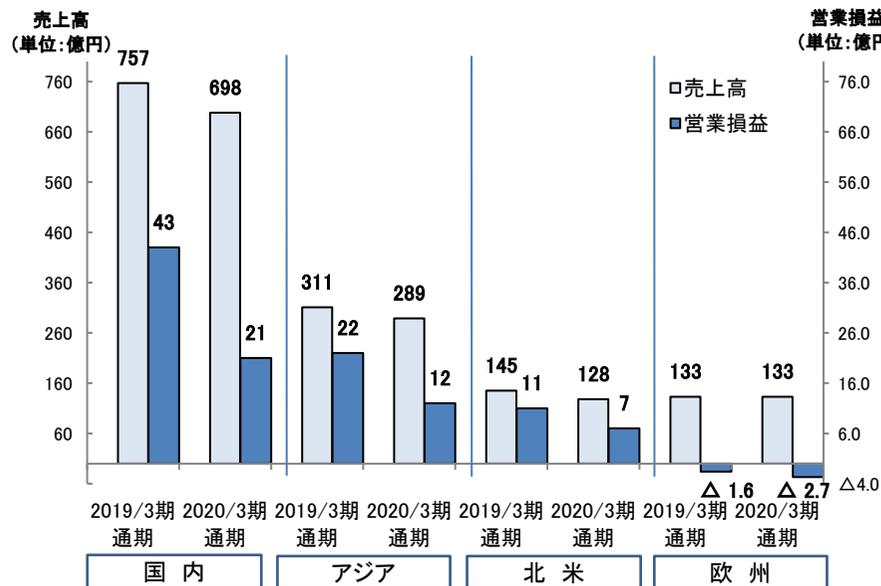


※「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

【売上高】 ◎増収要因 △減収要因 (単位:百万円) 【営業損益】 ◎増収要因 △減収要因 (単位:百万円)

セグメント	売上高構成比 2020/3期 通期	前年度比		増減要因項目	前年度比	
		増減額 (増減率)	増減額 (増減率)		増減額 (増減率)	増減額 (増減率)
自動車用エンジン軸受	59.0%	△ 3,852 (△5.9%)	△ 1,152 (△13.7%)	◎日本: 乗用車新規開拓に伴う受注増 △日本: 継続的な輸出用トラックの減少による影響 △国内・海外のターボチャージャー用軸受の受注減 ◎中国: 新規顧客開拓に伴う受注増 ◎韓国: 需要の回復傾向や好調機種種の受注増加 ◎インドネシア: 市販品の受注増加、開拓もあり堅調に推移 △タイ市場の低迷や北米需要不振の影響	◎韓国: 売上増加に伴う利益増及び収益改善努力 △世界的な自動車生産の落ち込みによる減収の影響	
自動車用エンジン以外軸受	15.0%	△ 1,470 (△8.7%)	△ 773 (△23.3%)	△世界的な自動車需要の落ち込みの影響	△減収による影響他	
非自動車用軸受	10.3%	763 (7.7%)	270 (19.9%)	◎造船受注が底堅く推移し、海外向けのシェアアップ △海外向け(中国・北米・アジア等)建設機械関連の落ち込み	◎高付加価値軸受の増収効果他	
自動車用軸受以外部品	13.3%	△ 2,461 (△15.2%)	△ 1,030 (△473.1%)	△飯野グループ: 米中の需要が底堅く推移したが、国内需要の落ち込みによる受注減 △世界的な自動車生産の落ち込みによるアルミダイカスト製品の受注減	△飯野の国内外生産拠点の集約による一時的な再編費用 △DMCT(タイに設立のアルミダイカスト新工場)立ち上げによる費用増	
その他	2.4%	△ 311 (△11.3%)	△ 172 (△24.6%)	△工作機械・各種産業機械や建設機械等の減速に伴う特殊軸受の需要減の影響他	△減収による影響	
セグメント間消去		△ 225	△ 235			
全体合計:		△ 7,558 (△7.0%)	△ 3,093 (△42.6%)	△円高による為替影響		

4. 所在地別情報 / 売上高・営業損益(内部取引消去前)



【売上高】 ◎増収要因 △減収要因 (単位:百万円) 【営業損益】 ◎増収要因 △減収要因 (単位:百万円)

地域	売上高構成比 2020/3期 通期	前年度比		増減要因項目	前年度比	
		増減額 (増減率)	増減額 (増減率)		増減額 (増減率)	増減額 (増減率)
国内	55.9%	△ 5,949 (△7.9%)	△ 2,142 (△49.5%)	◎乗用車新規開拓に伴う受注増 △継続的な輸出用トラックの減少による影響 △ターボチャージャー用軸受の受注減 ◎造船受注が底堅く推移し、海外向けのシェアアップ △海外向け(中国・北米・アジア等)建設機械関連の落ち込み △飯野グループ: 国内需要の落ち込みによる受注減	△減収による影響他 △飯野グループ国内再編にかかる費用 △海外需要減少による海外子会社への材料供給減	
アジア	23.1%	△ 2,207 (△7.1%)	△ 1,011 (△45.0%)	◎中国: 新規顧客開拓に伴う受注増、日系顧客の需要が底堅く推移 ◎韓国: 需要の回復傾向や好調機種種の受注増加 ◎インドネシア: 市販品の受注増加、開拓もあり堅調に推移 △タイ: 自動車関連の低迷に伴う受注減 ◎飯野グループ: 中国需要の好調に伴う受注増 △ACT: 世界的な自動車生産の落ち込みによるアルミダイカスト製品の受注減	◎韓国: 売上増加に伴う利益増及び収益改善努力 △タイ: 減収による影響 △DMCT(タイに設立のアルミダイカスト新工場)立ち上げによる費用増	
北米	10.3%	△ 1,641 (△11.3%)	△ 330 (△29.5%)	△自動車全般の減速・建設機械関連の落ち込み ◎飯野グループ: 底堅い需要の推移により好調	△飯野グループ: 米国からメキシコへの生産移管に伴う費用	
欧州(ロシア含む)	10.7%	△ 3 (-)	△ 104 (△62.4%)	◎自動車用エンジン軸受は底堅い推移 △ターボ用軸受の不振によりエンジン軸受全体では、微減 ◎非自動車用軸受(中・高速ディーゼル用等)の微増	△業務委託手数料の増加による影響 △ロシアの原材料費の上昇及び材料輸入コストの増加他	
内部取引消去		2,243	495			
全体合計:		△ 7,558 (△7.0%)	△ 3,093 (△42.6%)	※セグメント別情報にコメント同じ		